



建築技術性能証明書

技術名称：okabe 仮設開口補強工法（改定2）

申込者：岡部株式会社 代表取締役 社長執行役員 河瀬 博英
東京都墨田区押上2丁目8番2号

技術概要：本技術は、鉄筋コンクリート造の床スラブに適用し、ラス型枠によって資材運搬用の仮設開口部を形成し、開口部使用後は後打ちコンクリートによって閉塞される工法である。主な構成部材は、アシスト筋、開口補強筋、ラス型枠、ワイヤーメッシュである。アシスト筋は両端部に鋼管スリーブを圧着して定着機能を有した補強筋であり、開口補強筋とともに、開口部によって欠損する鉄筋の代わりにスラブに生じる曲げモーメントに抵抗する。ラス型枠は、後打ちコンクリートの付着を確保する凸型のリブとラスから成る鋼製型枠で、仮設開口部を形成する。ワイヤーメッシュは、後打ちコンクリートのひび割れ防止等のために仮設開口部内に設置される補強筋である。

開発趣旨：資材運搬用の仮設開口部は、開口部周りの補強方法や開口部使用後の閉塞方法に関して、明確な設計方法や施工方法がなく、現場の判断で行われることもある。本技術は無開口スラブと同等の構造性能を確保することを目的として、設計・施工方法を定めたものであり、高い施工性と軽量化を実現する仮設開口補強工法である。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

2022年12月22日

一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 上谷 宏二



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料により性能証明を行った。

資料1：okabe 仮設開口補強工法 性能証明のための説明資料

資料2：okabe 仮設開口補強工法 設計・施工指針

資料1には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。

資料2は、本技術の設計・施工指針であり、適用範囲、使用材料、設計方法、構造規定、製作要領、施工手順などが示されている。

また、付録として、標準仕様図、設計例、施工マニュアル、検討書例などが示されている。

証明内容：申込者が提案する「okabe 仮設開口補強工法 設計・施工指針」に従って設計・施工された仮設開口部を後打ちコンクリートによって閉塞された鉄筋コンクリート造床スラブは、無開口スラブと同等の許容耐力、ひび割れ性能を有する。また、仮設開口部を閉塞するまでの施工期間においても同等の性能を有する。

改定の内容

新規 : GBRC 性能証明 第 19-17 号 (2020 年 3 月 26 日)

改定 1 : GBRC 性能証明 第 19-17 号 改 1 (2022 年 1 月 28 日)

- ・ 試験装置の改良
- ・ 開口補強ディテールの変更

改定 2 : GBRC 性能証明 第 19-17 号 改 2 (2022 年 12 月 22 日)

- ・ スラブの短辺内法長さの適用範囲を 2900 mm 未満の短スパン域まで拡大
- ・ コンクリートの設計基準強度 F_c の適用範囲を 60N/mm^2 の高強度域まで拡大
- ・ 仮設開口の長辺長さを 500 mm ~ 1100 mm の範囲内で 2 種類追加